

## 2022年3月期 第2四半期決算の発表について

昭和産業株式会社(社長:新妻一彦)の2022年3月期第2四半期連結決算は、売上高139,914百万円、経常利益2,929百万円となりました。2022年3月期連結業績予想については、売上高2,800億円、経常利益90億円を見込んでおります。

### 【2022年3月期第2四半期連結決算】

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4度目の緊急事態宣言が発出されるなど、極めて厳しい状況が続きました。国内でのワクチン接種が進み、経済については持ち直しの動きが期待されるものの、感染収束時期はいまだ不透明であり、依然として厳しい状況が見込まれます。

さらに、原料穀物におきましては、世界的に旺盛な需要による需給の逼迫により、依然として原料穀物相場は高値で推移しており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「中期経営計画 20-22」の2年目に入りました。長期ビジョン「SHOWA Next Stage for 2025」の「確立」のステージと位置づけ、5つの基本戦略においては、これまでの「①基盤事業の強化」に注力しつつも、軸足を「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」へと大きく移し、それらを支える「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」についても優先度を高めて各施策の推進に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は139,914百万円と前年同期に比べ15,733百万円(12.7%)の増収となりました。営業利益は2,406百万円と前年同期に比べ1,770百万円(42.4%)の減益、経常利益は2,929百万円と前年同期に比べ2,041百万円(41.1%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,802百万円と前年同期に比べ5,115百万円(73.9%)の減益となりました。

### 【2022年3月期連結業績予想】

第3四半期以降も新型コロナウイルス感染症再拡大の可能性、為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2021年5月14日に公表した2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想につきまして変更はありません。なお、公表すべき事実が発生した場合には速やかに開示いたします。

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松

TEL:03-3257-2042